

会 議 録

会議の名称		第 11 回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校 開校準備委員会		
開催日時		令和 5 年 6 月 28 日（水） 開会 18：30 閉会 22：45		
開催場所		つくば市役所 2 階 204 会議室		
事務局（担当課）		教育局 学務課		
出席者	委員	井上拳吾、金子朋子、黒崎徹、松本麻衣、谷池真彦 木ノ内富美代、高橋正典、別府孝泰、松本智加、熊谷みを 関美智子、牧野祐一、谷山友香		
	事務局	学務課課長 下田裕久、学務課課長補佐 川又文江 学務課係長 大友博幸、学務課主査 菅原理恵 学務課主任 篠原周平、学務課主事 白土直也		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由				
議題		（1）制服・体操服について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 議事 （1）制服・体操服について 3 その他 4 閉会			

< 審議内容 >

- 1 開会
- 2 議事

事務局：ただいまから第 11 回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校開校準備委員会を開催いたします。議事に入ります前にお願いをいたします。

本日の委員会は、AIにより議事の文字起こしを自動で行うシステムを使用しております。このため、大変お手数ですが、ご発言の際は必ずマイクをご使用くださいますようお願いいたします。マイクの下スイッチを押していただき、マイク中央部のランプが青く点灯しましたら使用できますので、よろしくお願いいたします。それではこれより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長にお願いしたいと思います。

委員長：それでは会議の進行をさせていただきます。本日の傍聴者の方はいらっしゃいますか。

事務局：おりません。

委員長：それでは、このまま議事に入ります。まず制服についての資料説明を事務局でお願いいたします。

事務局：はい、事務局です。それでは資料の方を説明させていただきます。資料1の方をご覧ください。資料1の方こちらの方は制服・体操服の今後のスケジュールの案の方になっております。本日、第11回委員会、6月28日で、制服につきましては、サンプルの方の提示と今後のアンケートの詳細の決定をしていきたいと思っております。その後アンケートの方を実施させていただき、第12回委員会、7月13日で制服の方を決定したいと考えています。資料の方、進みまして、資料2の方をご覧ください。今回の制服アンケートの内容について、委員会で協議決定するものと、アンケートにかけるものを決めていただきたいと思います。制服のアンケート設問のところを見ていただきまして、こちらの方でアンケートと委員の皆さんでどういった形でしていくのかっていうのを本日決めていただければと思います。例としましては、研究学園中学校の例としては3つのデザインのパターンから1点を選ぶ方法を後ろの方につけているんですけども、1枚めくっていただいた資料の方が、研究学園の方で実際に電子申請で行ったアンケートの内容になっています。今回もこちらの方を参考にみどりの南のア

ンケートの内容を決めていければと考えています。参考として後ろにみどりの学園保護者様と児童生徒は紙でやる場合のアンケート用紙の方も参考に作らせていただきましたので、こちらをベースにアンケートの内容を決定していければと思います。資料の説明は以上になります。この後メーカー様が持ってきていただいたサンプルの方の説明をしていただき、アンケートの調整に入っていければと思いますので、よろしくお願いいたします。委員長お願いいたします。

委員長：それでは、メーカー様から制服についてのご説明をお願いいたします。

トンボ：よろしくお願いいたします。はい。今日何点か、まず制服の方お持ちしています。上着に関しては、生地は1つの生地。好評いただいた生地になってます。ただ形が、フラワーホール、色がついてるもの、あとパイピングついてるもの、パイピングは一緒なんですけど、緑色。これがグレーというかシルバーですね。グレー色をつけたもの。ちょっと上着に関してはいろんな形を見てもらおうかなという形で用意してきました。はい。もう先ほど大分見ていただいたと思うんですけど、ポケットの向きですね。まっすぐのものと、斜めについてるもの。上着に関してはその辺の違いと、あとはちょっとワッペンこれダミーっていうかコピー、ちょっと時間的に間に合わないので、コピーでやってますけどこういう形で、ワッペンつけるならつけていただくのがいいのかなという感じです。はい。上着に関しては、基本は一緒なんで、そういう説明です。あと制服に関して、ボトムですね。スカート・スラックスに関しまして、あとネクタイ・リボンに関しましては、我々でいろいろ、この地区を調べさせていただいたり、先日のプレゼンテーションの中で聞いたこと。そういったものを全部合わせて、とりあえず今着ているのが、御校にふさわしいと我々が考えてます3点を、3つのタイプを着せてきました。それ以外に、こちらの方にちょっともう、数は限られてるんですけど、他の柄のものも持ってきてます。あと結構悩

まれるのがネクタイ・リボンの柄、色だと思imasuので、その辺はあんまり持ってくると、なかなか決まらなくなるっていうのがあるんですけど、ちょっと合うものを持ってきましたので、その辺は皆さんで決めていただいて、最終的に3つに絞っていただけたらなと思imasu。最近の流れを話しますとその流れが御校に合うかどうかってのもあるので、やはり結構濃いめのボトムを持ってきました。これ結構明るいんですけど、濃いめのもので。あと特にスカートはやっぱり汚れが目立つとかっていうのがありますので、濃いめのもので決められる学校さん増えてるのは、最近の傾向になってます。それと後、柄の方も結構落ち着いた柄。特に中学校さんは、こういったような落ち着いた柄で決まっていっている流れにはなってます。やはり落ち着いたものの方が長年ずっと変更なしで続いていただけじゃないかなと思っております。はい。柄と生地はこの間説明したのであれなんですけど、こんな簡単な説明で申し訳ないですけど、はい。あとは細かい部分では今日、デザイナーも連れてきていますので、何なりと質問していただいて、答えていって後は皆さん前に来て見ていただいている着せ替えじゃないんですけど、そういうのをやっていただけたらなと思imasuので、よろしくお願いいたします。

委員長：はい、ありがとうございます。そうしましたら、3パターンに絞ってアンケートを実施する方向なので、組み合わせを考えて3パターンを決めなければなりませんので気になること、聞いてみたいことがあれば業者さんのトンボさんに聞いていただいて、あとは実際にこれ以外のリボン・ネクタイとかスカートがあるんですよね。それを見ていただいて3パターンを決めたいと思imasuので、すごく時間があるわけではないので、パパと決めていきたいと思うんですけれども。何か気になる点がここで質問、聞いてみたいことがあれば、どうぞお願いいたします。どうぞ。

委員：はい、制服の方の3パターン。上はもう今3パターン来てるんですけど

も、例えばパイピングだったり、フラワーホールだったりっていうのの組み合わせっていうのも、自在なんですか。

トンボ：はい。例えば、このポケットでフラワーホールをこの色にしてくれと
かってことですよね。それは可能です。ただアンケート取るのが来週なので、その時は、その形ではちょっとアンケート展示には、間に合わないんですけど。もう実質、来週ですよね。はい。納品という部分でいじめることは可能です。はい。ただ、アンケートにはちょっとというか無理です。

委員長：そうですか、じゃあこれがこの形がそのまま出てくるっていう。

トンボ：そうですね。はい、そうです。

事務局：事務局です。これはあくまで、個人的っていう言い方なんですけどご提案です。今、先ほどメーカーさんから言われた通り、ネクタイ・リボンをいっぱい持ってくると思うんで悩んでしまうっていうお話、まさにその通りだと思うんですよね。それであれば、今回のこの3つは今メーカーさんが提案される一番のものだと思いますので、今回3つを決めなきゃいけないわけですから、まずこの3つの中で、皆さんで、挙手していただいて、そのまま出したいものがあるかどうかを先に決めちゃったほうがいいんじゃないかと思うんですよね。メーカーさんが持ってこられたこのパターンでやりたいっていうものが一つでもあるのか。なければ、例えばですけど、一番左のやつはもうあれでいいですよって皆さんが納得されれば、それはもう1つ外すわけですよ。残りの2つについて持ってきていただいているストラックスとスカート、それとネクタイとリボンを組み合わせていくっていうパターンにしていかないと、3つとも組み合わせを考えていると終わらないので、省きたいものだけ省いてしまう。決めるものだけ決めてしまって、変えたいものだけ残して部品を変えて、変えていくっていうパターンにしていかないと。例えば、一番左のものに赤いネクタイして、やっぱり真ん中も緑にしますかといういろいろやっていくと、終わらなくなってしまうので。

本当に残したいものは残して、決めてった方が一番いいんじゃないかなとは思いますが。

委員：提案なんですけども、テーマを言葉にしてみるのはどうかなと思いました。例えば、私の印象として、一番左はスタンダードというか、ベーシックというか、オーソドックスな感じで、真ん中はどちらかというところクールなイメージで、区別がこう、概念としてしやすいようなところからアプローチして行って、もう1つは、あとその2つに当てはまらないもの、例えば、若々しいとか、何か元気があるようなイメージとか、そういうイメージ付けをこう、3種類つけて、それに合う色合いとかを選んでいくのが、どうかなと思いました。

委員長：はい、お願いします。

委員：この3つ見た感じで、今おっしゃったテーマというか、女子の服をスカートを見ていただいたら、大きいチェック、一番右が細かいチェック、真ん中が無地に近かってことで、もしその大きいチェックでもっと変えたければ大きいチェックのグループで、違うものを見るっていうふうにするればあれもこれもぐちゃぐちゃってならないのかなって、パイピングが緑で入ってるので、その緑系で持ってくるとか、ズボンが緑みたいに見えますので緑で持ってくるとか。そういった色で統一というか、したらいいかなと私は思うんですけど。あと一つ、業者さんにお聞きしたいのは、この3つありますけど、3点とも大体同じ値段ですか。

トンボ：そうですね大体同じぐらいの値段ではいけると思うんですけど、細かく言うとやっぱりパイピングが入ってる分高くなりますし、あとは柄ものって、基本、デザイナーを差し置いて言うのあれですけど、大柄になればなるほどちょっと価格は高くなります。やっぱり柄合わせがあって、ロスが多くなりますんで。はい。

委員：大体それはどれぐらいですか。

トンボ：スカートで言いますと、1万5,000円切るぐらいから1万6,000円、1万7,000円までいかないぐらいです。はい。ものによってですけど。出てるものですね、はい。一番安くいけるのが、やはりこの無地に近いものでありまして。やっぱり一番高いのはこの大柄のものにはなります。はい。ジャケットはあの形というより、何がついてるかになります。やっぱりパイピングついてる分高くなりますし、はい。これはもう無地にここだけですので。はい。比べたらもう、こっちの方が価格で言ったら安いです。多分ポケットの向きではそんなもう価格は変わらないと思ってください。はい。どれも同じ。

委員長：これってジャケットの形、3種類の中から一つ選んで、そこにオプションで、フラワーホールなのかパイプがこうついてるのかっていうふうを選択してもらえばいいんじゃないんですか。これ、形を見てもどれがってあって、あとポケットの形とか、というふうアンケートを取ればいいんじゃないですか。ジャケットは違うのかな。

委員：おっしゃったみたいに選択できるっていうことから波及して、そのシェイプとストーンとした形と、女子だったらどっちか好きなものを選べるっていうのは駄目なんですか。

委員長：それもアンケートに出しちゃう。値段が変わらないんだったら、両方準備しといてもらって買う人が決める。男女兼用のものと、女子用っていう形で、はい。

委員：スタイルが良いもあるけどそればかりじゃなくってストーンとした方がいいって女子もいるかもしれないので、アンケートにかけるんじゃなくて、もう初めから両方選択できるよっていう体にする。

トンボ：できたら1パターンにさせていただけるとってというのはあります。本音では。

委員：例えば、真ん中のシルバーのパイピング入ってるものにします。はい。

これで決まりましたってもう確か男女兼用のボタンホールがついているやつと、シェイプは2種類、どっちみち後で選ぶことができるんですもんね。だからそこは多分大丈夫なんですよね。今決めるのはそのパターンっていうか、パイピングとかそういうのをこの3種類に決めるってことで、ジャケットはほとんどもういじれないっていうことなんで、スカートとの組み合わせを今日3パターン決めるっていうようなイメージで。柄とデザインと決めていきたいなっていうのがあります。

委員：後から変えられる部分としてはボタンとワッペン他に何かありますか。

何が言いたいかと思えますと、制服としては、まず生地調達が必要なんで縫製も始めなきゃ間に合わないんですけど。

トンボ：そうですね縫製の方も、はい。

委員：そうするともう形に左右される、形に入ってくるようなパイピングとかもすでに決まってないといけない。後から、例えばもう形とデザイン、デザインというかデザインと生地は決まりました。はい。そのあとに、パイピングの色を決めたり、細かい部分の修正ができるのかできないのかですね。

トンボ：そうですね。それが、どのぐらいで決まってくかにもよるんですけど。

委員：これは一旦シルエットと生地が関わるような、大きなデザインが決まって、そのあと、そこにパイピングをつけるのか、フラワーホールを、色を入れるのか、ボタンはこういうのがいいかっていうのを、再アンケート取れるのか、それとももう、今回のアンケートで、形がカチッと決まらないと、もう間に合わないのか。

トンボ：今回のアンケートでは、形決めて、その、再アンケートがどのぐらいでできるかなっていうのがあるんですけど。1学期中ぐらいに決まっていたらただければとは思いますが。

委員：ボタンとかワッペンとかっていうのは変えられるんですか。

トンボ：そこは大丈夫です。

委員：そこら辺は大丈夫ですか。もう。縫ったり、切ったりする部分はもう厳しいってことですか。

トンボ：そうです。

委員：わかりました。ありがとうございます。

事務局：よろしいですか。今言っているこのパイピングの色については、後からアンケートでどれがいいですかっていうのをやらない方がいいと思います。今、見本を取りかえてもらっていいですか。一番左の女性用のその緑のラインのジャケットと真ん中のシルバーのジャケット入れ替えてもらっていいですか。というのはシルバーは多分下がグレーのスカートなのでシルバーで合うようにしていると思うので、緑は下が緑だから緑になってんだと思うんですよね。それをアンケートを取ったときに、これでって思ったものをアンケートでどんなパイピングいいですかっていうふうにやってしまうと、イメージが少し違っちゃうんじゃないかと思うんですよね。もうパイピングが入ってるものでやる。選んだとすれば、そのセットはそのセットのまんまで選ばせるようなアンケートにした方が、なるべくイメージが変わらないほうがいいんじゃないかなと。選ぶのであれば、さっき言ったボタンとか、ポケットの形を選ばせるだけのアンケートにしないと、上を選ばせるのには影響が出てくるんじゃないかなと思います。

委員長：そうすると絞ると、形が決まる。これをつけるかつけないかを決める。つけるんだったら何色にするか決める。何色にするか決めると、もうある程度スカートの色も決まってくるっていうことですよ。まず形とこれをつけるか。こういう形にするか。どれをつけるかになったらその色どうするかっていうところをちょっと考えていただくと。いうことになりますので。ちょっと考えてみてください。スタイルは男女兼用か、ウエストが締まった形にした方がいいんですか。はい。キュッとなったのを選べるよう

にしとくっていうことでね。だから大まかな形としては真ん中のも形あとは襟のところに入ってるのか、ボタンホールのところに入ってるのか、ポケットの形になりますよね。はい。ちょっとそんな時間取れないんですけど、考えてみてもらえますか。見に行ってもいいですね。

委員：一番左のリボンネクタイの色と、このパイピングの色の調和があまりもうちょっと欲しいなっていうところが一つあるのと、一番右はちょっとテーマがわかりにくいというか、ネクタイとリボンの色がこう浮いている感じがするので、何かもうちょっとこう、明確なメッセージがあってもいいんじゃないかなと。

委員長：皆さんよろしいですか。ご納得いただく一つの形を決めますか。ご納得いただけるひとつの形を一つ選んで、それについて、ネクタイ・ズボンとか、っていうパターンをこう変えていくっていう形になると思うんですけども。右、左、真ん中で、もちろん真ん中のように、ウエストはこう絞ってもらえるものも作るってことですよ。で、この3つのパターンで、どれがいいかちょっと聞いてみるでもいいですか。参考までにね。右のパターンで少し変えてアンケートを取りたいという方いらっしゃいますか。右、2。真ん中、これほぼですね。はい。左側。いじくらないっていうのは。何を変えない。ネクタイ、リボン変えない。このまま。そうすると、何を変えるの。

委員：そういうお話してたんですけども、例えば、ここを2つ、向かって左と真ん中を残した上で、ちょっとどれを残すとかは別で、とりあえず二つはこの基本形として残した上で、その2つの中から1つをちょっとネクタイとかその辺をいじった形で、提案して、3つにしてみたらどうですか。

委員長：もう完全にもうこれは違うなっていうのを1つ決めて削除すると。

委員：はい。その分を、その残った2つの中から、いじって、いろいろネクタイ等を調整してみて提案してみる。というような形の方ではどうでしょう

か。

委員長：それやってみますか。いいと思います。これはちょっと違うな、選択肢から除こうっていうもので聞きますから、1回だけ手挙げてくださいね。除くのですよ、除くものに手を挙げるんですよ。右、6。はい。真ん中、3。左側。というわけで、除かれるのは、一番右側が除かれることになりましたので、これちょっと除いていただいて、この2つで、もう1点分を作ると。はい。これはもう決定、このままアンケートにかけると。

※アンケートにかける制服パターンについて、委員・メーカーで調整し3パターン決定。

トンボ：はい。我々としましてもピンクをどこかについてという言葉が残ってたんですけど、今、デザイナーとも話したんですけど、こういう紺が強い色でも、ピンクを残す、残さないというのは置いといて、こういうのが合うよということを書いてましたね。はい。こういう話で男女って言っちゃいけないのかもしれないですけど男子のスラックス、やはり LGBTQ の方は男子の制服を着たいっていう気持ちがあると思います。

事務局：すいませんもう一つ。今提案した、サブをつけるっていうことになると、これだけサブつけるのかっていう問題が出てきますよね。前の2つもっていうのが出てくるので、そこも考えないと。逆にただその場合には、皆さん選ぶの大変だっていうことになれば、2つのパターンについてサブは何かありますかってメーカーさんに提案してもらっておいて出すかっていうことですかね。

委員長：結局カチツとした制服を決めればいいんだから自由度はないんですよ制服には。うん。それで、運用として新しい学校で、真夏はポロシャツでいいよ。ワンポイントであれば何を着てもいいんだっていうかもしれないし、いやポロシャツじゃなくてワイシャツ開襟でもいいよみたいな。それは学校の運用、始まってからの運用で、ここはカチツとした制服を決める

ってことですよ。全部決めてくれって言うんだから、だからオプション的なものは、ないですよ。と私は思ってるんですけど、どうなんですか。制服は決めますよね。その運用については、ご意見を聞くけど、それはここで作るものじゃないのかなと。そうなるともうポロシャツってなっちゃうから。結局。そういう運用になるかもしれませんよね。ここで決めれば、夏服ってかちっとしたもののプラス、予備をつけておけばその意見が反映されるのかな。通常はこれですよ。通常っていうか式典とか。学校生活が始まって、例えばその暑い時にその体操服で登校していいよとかっていう自由度が増えますよね、今のみどりの学園みたいに。それってこの場で決めることなのかなって。この場でご意見は伺って反映すると思うんですけど。そのかちっと決めるのかなっていう。ポロシャツがいいですよって、ご意見いただければ、あ、そうなんだねってなって、この委員会で言ってるんだから、それについて考えましょうって学校で検討して、なっていくんじゃないかと思うんですけど。そこまで決めるんですか、ここで。何かシャツポロシャツの色って私はもう本当何でもいいと思ってるから、これさえ決めておけば、あとは夏場は、ポロシャツって言ってしまえばポロシャツ何でもいいわけだし。うん。ポロシャツになりますね、カラーのね。そう、だからこの準備委員会で、夏は、ポロシャツも OK ですよってご確認できればそれ以上決めることってないですよ。色とか何か、何が色がいいですかって聞く必要ないですよ。自由でいいってことですよ。

事務局：よろしいですか。今、言っていることは、例えばポロシャツも OK ですよってなったときには、当然、カラフルな色になっても構わないってことですよ。教室の中で。研学とか学森で言っていたのは、もともと夏にもポロシャツを着せたいっていうご意見もあったので、この委員会の中でも、アンケートはポロシャツも OK だよ、ただし色もあるので、何色を着たいかっていう、大まかなことをアンケートで聞いて一番多いものを着せましょ

うかっていうことで、式典は当然式典用には作りますと、式典じゃない時以外は、プラスアルファしたのも着ていいようにしましょうかっていうのをアンケートで聞いて決めておく。そうするとカラフル化がないんですよ。白の他には例えば紺が良いって言えば紺だけしかないとか。仮にアンケートを取って2つが多かったから、じゃあ2つ、紺とグレーにしましょうかといえ、白と紺とグレーだけになるっていうカラフル化って言ってもその3つしかいないので。当然、式典は白だけになりますよね。式典以外は白もいる、紺もいる、グレーもいるかもしれないっていうパターンだけになるのが、このアンケートをやって、色を決めてしまえばならないっていうことで、例えばその規則化で今度、準備委員会の中で研学とかでやってたのは、女子のベストを着るタイミングはいつかとか、カーディガン着れるとかコートはどうするとか、そういうものを規則の中で決めていくとかの話だったかなと思います。例えば、あとは、靴下の何色がいいのかっていうのを決めるのかとか、そういう細かいのは規則なのかな。ただ、ポロシャツとかワイシャツのカラーリングってことは、この制服をかちっと決めたものに対して、色合いが出てきちゃうので、そこを決めるかどうかということになる。当然決めなかったとしても、人それぞれカラーはあったとしても、合うもの合わないものが出てくるとは思いますけども、その辺をどうするかっていうことですかね。

委員長：1つの意見としては、今学校でルールメイキングってやってますけど、そんな色とかは子供に決めさせればいいんじゃないかなって自分では思うんですよね。様々なものが出てきて、それで子供たちが違和感を感じれば、ルールメイキングして決めればいいって思ってんですけども、新設校だから、じゃいつ決めるのかってなると、4月始まってから、夏服になるまで2ヶ月ぐらいしかないから、決まらない可能性もありますよね。だから私はルールメイキング派ですけども、1つの意見として、ここで大まかに、

オプションでポロシャツがあって、色もアンケートとって、大まかにこう決めるっていう意見もありますよね。どうしたらいいのかなって自分で思います。ご意見ありますか。

委員：私も新しい学校の中でルール作りはもちろんしていただきたいと思うんですが、やっぱりその選択肢というかポロシャツを好きなの着てきたらいいよって言ったら、赤とかピンクとかぐちゃぐちゃになっちゃった時に、好きな色なのに、なんで駄目なのって意見が出てきちゃうかもしれないので、あらかじめ大まかなブルー系とか白系とか、そういうふうに分けて、紺とか白とか決めちゃうんじゃないかって、ふんわり決めてしまえばいいのかなって思います。

委員：私もある程度決めておいて、それでまた学校が実際始まって、ここでは一旦ルールとして決めて、それをさらに子供たちが発展させるのであれば、それはその中で進めていけばいいかなと思うので、ある程度ここで、今言ったように別に何色じゃなくても、ある程度、グレー系とか黒系とかそういう形で決めておかないと、多分保護者としてもやっぱり買う時にどれかっていいんだっていうふうにもなっちゃうと思うので。2ヶ月ぐらいですぐ切り替わっちゃうとなると、多分子供たちもそんなの話してる時間もないと思うので、一旦ここでアンケートとって決めておいて、それでまた1年かけて子供たちに話をしてもらって、ルールを作っていくなり、改善していくなりはしていてもいいのかなと思うので、そういった形で進めてはどうでしょうか。

委員：今の中学1年生、2年生っていうのが中学2年生、3年生でみどりの南に行くことになって、その子たちは今のルールをある程度踏襲していくと思うんですよね。そうすると、基本みどりの学園の子供たちは白をベースにして、ポロシャツもそんなに皆さん着てないように聞いてますけれども、普通のというか、それこそトンボさんの学生用のシャツで、長袖・半袖は

どこでも買えると思うので、まずみんなその上の子はそれを着るんだと思うんですね。だから、ここであえてルールを作らなくても2ヶ月でこう保護者が迷ってってというようなことはあまりないのかなというような気がします。

委員：谷田部中はもう来月の3日から、体操服になっちゃうんでもう夏服とかそういう概念がないので、ちょっとそっちからいくと、どうすんのってなっちゃうかな、保護者はちょっと迷うかなとは思いますが。ただそこも、ルールを決め方がいいのかちょっとそこら辺わかんないんですけど、あればあったら楽。ちょっとやっぱり谷田部中から行く子どもたちにとってはがらっと変わっちゃうので、ある程度何かルールというかそういうのがあると、楽といえば楽かなって感じはします。

委員：みどりの学園が今、ポロシャツを採用、正式に採用はしてないってことなので、言い方としてあれかもしれないですけど、今のご意見からしてあとの今のご時世の夏の暑さから考えたときに、ポロシャツってというのは皆さん、意見としては一致してるのかなって感じがするんですよね。夏はもうポロシャツを着せるというか、決めて。なのでアンケートの中に、夏服としてはポロシャツを採用しようと思ってますが、色は何色がいいですかみたいな。アンケートの取り方でもいいのかなと。それで、多分おそらく奇抜な赤とか黄色とか出てこないと思うので、大体こう紺とか白ってところが落ち着くラインなのかなと思うんですけどね。私も先にアンケートは取っちゃったほうがいいのかなと思います。

委員：谷田部の、ごめんなさい。前、教えていただいたかもしれないんですけど、夏はみんなそろって体操服の今の状態って、きっと子供たちはとても快適だと思うんですけども、それがみどりの南になった時点で夏服の制服を着なきゃいけないっていうルールになることに対する反発っていうのは、出ないですかね。逆にその体操服でもいいよってというような括りにし

ておく方がいいのかな、なんて思いましたけど。

委員：学校から手紙が着てたのは、クールビズでは何か生徒会でそういうふう
に決めたって書いてあって、だから最初からあったわけじゃなくて多分何
年か経って生徒会で、暑いから全員クールビズで体操服っていう形に変え
た。一応谷田部中に夏服はあるんですけど、もうそのクールビズで半袖・
短パンで登校するので、もう誰も持ってる人はいないですし、だから夏服
を買うっていう考えが谷田部中の子たちはないかなと思います。

委員長：みどりの学園も登校時は、中学生は半袖、ハーフパンツ、リュックサ
ック。ていう感じなんですよね。学校にも登校した時点でクーラー効いて
るので、制服に着替えて授業を受けている。暑くないので。クーラーあり
ますよ、どこでも。

委員：でも中学校、そうですね谷田部中の子たちがみどりのの方に行くと、制
服を持ってないから、やっぱり制服を買わなきゃいけなくなっちゃうん
ですよ、夏に着るってなると。

委員長：別に移行期間として谷田部中の制服を着ていてもいい。

委員：そっか。着ててもいいから別にそれでもいいけど、制服あるから。ハ
ーフパンツ・半袖を着て、ズボン履いて、シャツ着ればいってことですね。

委員長：そうですね。うん。夏服っていう、概念というかジャケット脱ぐつ
ていう感じでしょう。

トンボ：よろしいですか。やはり一番今多いパターンは夏も同柄で冬ズボンで
も、一年中でもいいってパターンです。欲しい方はオプションで夏物。で
同柄で夏物同じ糸で織ります。夏物と冬物って違いは織り方の違いです
ので、基本柄は同じ形で、オプションとして夏物を作られる学校さんがほと
んどです。

委員長：はい。夏物を作るってことですね。

トンボ：はい。一応夏生地は織り方が薄いので、やっぱり夏用としては涼しい

ですので、はい。そのパターンが多いです。同柄で。だからもう別に冬用で1年間通してもいいよっていうような、はい。

委員長：それってここで決めることじゃないのかなって思いますよね。はい。学校の教育課程って様々なルールとかいろんなものを作ってますけど、その時点で、伺ったご意見を反映しながらも作っていくと思うので、ここでは決めないのかなと。ですので今までの感じでまとめると、制服はこれでアンケート取ると。夏になった時に、ポロシャツはもうマストですね。ポロシャツは着てもOKと。色についてはアンケートで伺っていくと。という形になりますか。

委員：ワイシャツは何か、何パターンか持ってきていただいていたので、決めないといけないんですよね。

委員長：ワイシャツね、これから。だから、先ほど議論でも出たようにやっぱり黄色いシャツが合うかなとか。うん。下の柄と、ある程度っていうのがあると思います。それはちょっと見せていただいてワイシャツを決めてまいりますか。

トンボ：基本スクール用なんで、淡い色にはなってますけどはい。

委員長：これ例えば黄色って決めたら、黄色のものが着せられてアンケートを取るってことですよね。もうそれ以外ないってことですよね。そうですね。もう、そのかちっと決めた色ってことになりますよね。そうするとだから、さっきポロシャツと同じように、基本はこれでアンケート取るけど、着たいワイシャツの色は何ですかっていう選択肢を作るってことですよね。あとは学校に任す。学校というか子供に任す。ここでは自由度を持たせましょうっていうこと。そういうつもりでいけばいいってことですよね。

事務局：よろしいですか。私が思ってたイメージでは、白は式典用。カラーリングのシャツについては、この3パターンはパターンによって選べる柄が違おうと思うんですよね。例えば、今持ってきてもらった黄色のワイシャツ

は合うパターンと合わないパターンが出てくると思うので、1、2、3のどれがいいですかって選んだ後に、ワイシャツは白ベースだけど、予備としてどれか着たいものがありますかってやって、選ぶ。青が良いとかピンクが良いとか黄色が良いってということで、どれか選んでもらって、1っていうパターンになったら、ワイシャツは白だけでも、じゃあもう1つ選択肢として、カラーリングのワイシャツは1番多かった、青にしますかっていうことにするのかどうかっていうことを、するかしないか。

委員長：多分しなくて、後は決まっています、あとはもうお任せですよ。そう。センスが悪かろうがなんだろうが着てくるってことですよ。柄がアロハみたいだったら、それもありかもしれないけど、それはルールメイキングじゃないですかね。

事務局：それはこの制服を決めるときに言うとおかないと、多分その柄を何でも着れるってことを考えて、1にするか、2にするか、3にするかって、選ぶ方は考えるのかなと思います。もう白しかワイシャツが着れないと思っていればこの3つのうちから選ぶんだと思うんですけど、白以外も着れるっていうことがあるのであれば、自分が着たいワイシャツのイメージを持って、どれかを選ぶんじゃないかと思うんですけど、そのアンケートに最初から書いておいてあげないと。

委員長：それは選択肢とかじゃなくて、米印とか何かでワイシャツについては色は問いませんみたいな。

事務局：式典は白だけでも、普段は白以外も何色でも着れますって書いてあげないと、少しは影響するのかなとは思いますが。

委員長：入れていいですか。アンケートの中にね。見たことないですよ。きっと違う色着てくればルールメイキングになると思うんですけど、みんな白着てるから。

委員：個人とかあとはその生徒会が動き出した中で、うん、子供たちが決めて

いくっていうスタイルがいいんじゃないですか。子供たちの中で、一応現状としては白を希望で僕はもう別に構わないけども、子供たちにやってもらっていくっていう方向性もアンケートに示しておく。

委員長：だから限定しないほうがいいってことですよね。白はベースだけど、このアンケートもあり、そうですね。

事務局：よろしいですか。確認です。それでは3パターンについてはもうセットが決まりましたので、これでアンケートを取って、選択肢を設けるのは、ポケットの切り方。3パターンどれにしてもポケットはフラットがいいのか斜めがいいかっていうアンケート項目を作る。シャツについては白なので、追加の項目はなし。夏については、ポロシャツも可とするので、ポロシャツメインは白けども、白以外は何色がいいですかっていう選択肢とする場合に、選択肢の色は何色にしますか。今紺とかグレーとか、選択肢としては、資料には白、水色、紺、その他にしたんですけど、その他で書かせるタイプにするのか、今書いてある選択肢としては、それ以外、特段入れて選ばせるか。

委員長：ポロシャツはどれがいいですかって聞く。最初から白買わないやつもいるっていう。

委員：いや。白は嫌なんです。だから白に重点が置かないようなアンケートを取るってことですよね。

事務局：そうですね今7番はそんな形ですね、白、水色、紺その他っていう感じで色を並べて、この選択肢のままでよろしいですか。何か違う色を書きますか。

委員長：目に見えるところに3色何置きますか。

事務局：3色であればですけど、水色と紺は同じ青系なので、水色か紺かどちらかにして、ピンクにしてその他にするか。

委員長：白は白って書くかもしれないかな。水色と紺は同系だから、水色、ピ

ンク、黄色、緑、白をその他で書くでしょきっと。着たければ。

トンボ：ポロシャツなんですけど。用意できるのがやっぱり白、紺、水色ぐらいにはなっちゃうんですけど。グレーはないですね。意外とポロシャツって色がうちでそろえるとしたら、もうこのぐらいになっちゃって、市販のものだったら、いろいろあるとは思いますが。例えばちょっと先ほど出た黒ってやはり学校さんでは採用されないんです。なので黒なんかはもう私どもは全く用意したこともありませんし、やっぱり一番最近多いのはやっぱり紺色ですね。はい。もうほとんどの学校さんは紺。

委員：近いものでどうですかっていうようなアンケート。この系統の色で選んでもらったらどうですかっていうような、もう色で形じゃなくて、もう、あんな感じで示して、この中から、これに近いものでいいですかっていう。逆に何色って聞いちゃうと、また訳わかんなくなっちゃうんで、この3色をベースにしたらどうでしょうっていうアンケート。もしそれがOKであれば、その3色、もしくはこちらの業者さんのを買ってもらってもいいですし。

トンボ：色はやっぱり市販の方があります。

事務局：いいですか。今メーカーさんで言ってるのは、あるのが3色なんですよね。アンケートの取り方でメーカーさんが展示用に用意するのであれば、3色しか聞けないんだと思うんですよね。逆に言うと。先ほど、ピンクとか違う色ってことになれば、物はもう用意しないで、色だけ聞くしかないと思います。

委員長：ここにあるようなアンケートの方法となりますよね。

委員：白、紺、水色、自由。その他じゃなくて自由っていうのを選択肢にして、その指定の色じゃなくて、別にしぼらないでくださいっていう人の意見を取るっていうのはどうですかね。

委員長：自由は別に色は聞かない。

委員：という伝わり方がうまく伝わるかわかんないです。表現が難しいですが。

委員長：結局その他って自由だからな。どんな色書いてくるかわかんないから。

自由で聞いてみます。というわけで白、水色、紺、自由っていう選択肢で聞いていく。

事務局：その他っていう色書かせないだけじゃ駄目ですか。これは今その他で色を書かせるようになってるので、その他だけで色を書かせなければ、違う色がいいっていう意見がわかるということでは駄目ですか。自由ってことは色を聞かないので、同じように、今その他で色を書かせるようになってるのを書かせないで、その項目はその他にしてチェックつけるだけにする。

委員長：どっちにしろその他自由ってやって、色を聞かないんだったら、どっちでもいいですけど、どうですか。じゃあ自由って聞いてみますか。

事務局：まとめると。パターンを3つどれがいいかを選びます。追加のアンケートでポケットはフラットか斜めか、どちらがいいか。あとプラスでくるのが、ポロシャツ。夏についてはポロシャツも可とします。その色については何色がいいですか。白、水色、紺、自由っていう項目のアンケートを取るっていうだけです。やる方とすればアンケートは3つですかね。まずパターンを選んで、ポケットはどれがいいか選んで、ポロシャツの色を選んで終了っていうのが、制服のアンケートでよろしいですか。

委員長：シンプルですね。はい。よろしいでしょうか。

委員：選択できるようにっていうかしてもらわないと、オーソドックスなのが好きな人は白が多いと思うので、また白に決まっちゃったら、ポロシャツにする意味がないので、だから白は抜きにしてもらって、白はもう自由の中に入ってるってことで紺、水色、自由でしたっけ。その3つにしたいと思いますが、どうでしょう。

委員長：ポロシャツだけしか聞かない。今、それとこのアンケートについて、

3つ目のポロシャツの件なんですけど、子供にも聞くかどうか。大人には聞くようにしてあるんですけど、子供には、1、2、3どれがいいかと、ポケットの形どれがいいかしかないんですけど、子供にもポロシャツを聞くか聞かないか。はい、聞く形で。水色、紺、自由っていうだけの項目にするのか、それはどうしますか。

委員：例えば、紺で決まった場合には白は着てこれないってことなんですか。そのベースの色がその制服としてっていうか、決められたやつが紺ってなっただけで、別に白着てこれるもう、もう固まっちゃってるのかそれとも、自由、さっきの話だと結構何色でもいいよみたいな感じだったんで、その辺どうなのかなと思って。

委員長：決めちゃうんじゃないくて、そう何色なら着たいですか、参考によって書いてありますよね。どれぐらいのレベルでみんなが考えてくるかっていうのを探るだけで、もう一番多かったからこれになるっていうアンケートではない。どれだったら着たいですかっていうレベルで聞いてみる。でいいですか。はい。自由なんだと思うよ。結局、自由ですよ。着たい色の傾向がわかるだけで。

委員：思い切って指定しますか、自由にしますか、でいいんじゃないですか。結局その話をしていくと、色って多分、最終的には自由っていう結論しか多分出ないと思うんですよ。なので、それだったら聞く意味も最初からあるのかってことで、何か聞かなくていいんじゃないってなる。どうせやるならそっちの方がいいんじゃないかなと思います。

委員長：ただ、アンケートには参考としますと、ここには一文が入ってますよ。参考だったらとりあえず聞いてみますか。

事務局：よろしいですか。さかのぼって申し訳ないんですけど。もしポロシャツも自由だってことを前提でいくのであれば、このアンケートを決めるのは、夏はポロシャツ着たいですか、着たくないですか、ポロシャツについ

ては自由な色としますっていう項目でのアンケートを取るんであれば、ポロシャツ着たいって人が多かったら、もうポロシャツも着れて、色も自由ですよっていうことに決まっちゃうのかと思うんですけど。それも含めて自由な方がいいということだったのでアンケートするとその形かなという。

委員長：紺、水色、自由で聞いて傾向を掴むから、どの色だったら着たいですかっていうアンケートにするでよろしいですか。

事務局：傾向を掴むとするのは、いいんですけど、傾向を掴むとすると水色、紺以外の色の傾向が掴めないけどそれでもよろしいですか。

委員長：うん。何色かってみんなが考えているのは聞けない。自由っていうだけの傾向を聞く形なので。

事務局：アンケートは今後、ポロシャツについて、いろんな選択を考えるためのアンケートの基本としますっていう形であるとする、水色、紺、自由にしてしまうと、色の傾向が聞けなくなっちゃうので、参考にはできなくなるんですけど。色を聞くのであれば自由っていう項目より、その他で色を書いてもらうかどうかですかね。

委員長：自由じゃなくてその他にして、記述してもらう。という枠を付ける。

事務局：あくまでも今後、ポロシャツの色を決める参考としますのっていう形で書いてですね。

委員：ポロシャツの色はやっぱり決めるっていう方向にならざるをえないんですか。ポロシャツの色は決めないっていうところでできないんですか。

委員長：紺メインだけど他もあるんですよっていう形になってくんでしょうね。紺がすごく多かったら。

委員：紺が多かったときに、紺は着たくないっていう人は紺を着なきゃいけなくなっちゃう。

委員長：その他のところで、様々な色が出てくるでしょうから、そういう色も

認めていくことになるでしょうよね。傾向を聞くんだから。メインは紺、紺じゃなきゃ駄目ってことではないと思うんですよね。どんな色が着たいんですかって聞くんだから、参考にする。

委員：そこに水色、紺っていう選択肢はある方がいいんですかね。その誘導としてチェック項目に水色、紺、最初はどんな色がいいですかって聞いちゃう。

委員長：いかがですか。どんな色がいいですかって聞く。それでよろしいですか。完全自由記載。今後のポロシャツについては、今後の色の参考としますので何色を着たいですか、で終わりっていう形で。はい。そうしましょう。

事務局：自由記載の場合、ちょっと集計上、間に合わない可能性があるのですが、それだけのご勘弁いただいていいですか。ただもう、1、2、3のパターンは集計できますので、発注はできます。

委員長：でよろしいですか。はい。では以上で多分制服は決定だと思いますが何かありますか。

委員：ワッペンが暫定的に作っていただいたかと思うんですけども、これは最終的にはどういう仕上がりになるかっていうのは、もう、すぐお任せになるんでしょうか。仕上りのサイズ感とか、それとももともとデザイナーさんとまた何回かやりとりがあったりするんでしょうか。

事務局：サイズ感はほぼもう決まってくる。できるサイズがあると思うので。

トンボ：ワッペンの方はですね、大体バランスでですね、大体大きさが決まっていたりしております。ちょっと形の方もですねいくつか現採用学校とかを見本的にちょっと持ってきてみました。この中でですね、ちょっと紙で貼ってある部分に合うような大きさ、あとはその形ですね。それでちょっと合わせてやっていければと思っております。今あるのはちょっと大きめの雰囲気なんで、現状のワッペンの方向性としましては、少しちっちゃめな

のが、以前は派手で大きめのだったんですけれども。はい。あ、そうですね。大体こういう感じのあの形で、多分この辺が、そうですね目安になってくるかなと思います。はい。来週のですね、アンケートのときにはもうちょっと一回りちっちゃくしてみてですね、イメージをもう少し付ける、作るワッペンの方に近づけてやらさせていただければと思います。はい。

委員長：他にありますか。

委員：アンケートに載せるかどうかわかんないんですけど、お値段保護者としては多分、めっちゃかわいいけど高いんだったら、こっち側の普通のやつで、安くていい、とかなってくると思うんですよ。5万だよって言ったら、その中から自由に選べますけど、片や6万、片や2万とかって言ったら絶対2万の方にいっちゃうと思うんで、その辺がわからずアンケートするのってデザイン聞くだけだからあれなんですけど、その辺も保護者は頭によぎるかなと思うんですよ。これかわいいから高いんじゃないかっていう。

委員長：はい、どうでしょうか。

事務局：次アンケート取る時、実際にはマネキン持ってきてもらって、パネルに製品説明のパネルを作ってもらおうと思いますので、そこに本体価格おおよそ幾ら、希望小売価格幾らっていうのを書いていただくことができますか。

トンボ：それはさせていただきます。価格の表記の仕方なんですけど、1点1点出した方がよろしいですかね、ブレザーがいくら、スラックスがいくら、ネクタイいくら、それとも、3点セットでいくらみたいな。わかりました。はい。ちょっとそういう記載の形で、パネルの方に作ってきます。

事務局：記載の方をお願いします。

委員：はい。そうすると、ボタンが決まってないですよ。ボタンで値段変わってくるってお話聞いたので大体の金額なのかな。今、仕様で大体パイピングとかその辺は決まってるんですけど。

トンボ：ボタンの方も大体を検討して出ささせていただくような形でよろしいですか。実際、このボタンになったから 1,000 円変わりますってことはしませんので。もう、1 点で出した方がよろしいですかね。もういくらって言っちゃった方がよろしいですよ。そんなに変わらないぐらいです。ポケットは同じ金額で大丈夫です。デザインは置いといて、今ついているボタンであれば、もう値段は決まります。はい。ただちょっとこれパイピングが入っていますけど。その辺はこの値段でっていう形を出させていただきます。はい。これは一般的な七宝ボタンなんですけど、反射にするとやっぱり高くはなっちゃいます。普通反射ではないですこれは。はい。そうですね。細かく見ないで同じぐらいですって言っちゃって申し訳ないけど、こういった部分では金額変わってきます。あとは学校さんに言わせていただいているのは、反射のものにするとフラッシュで写真撮影するとボタンが光っちゃいます。安全性の方が大事だとは思いますがそういったこともあります。一本 600 円ぐらい変わってくるんじゃないかなと思います。

委員長：よろしいでしょうか。制服については。では制服については以上です。はい。

事務局：はい、事務局です。アンケートの詳細についての確認なんですけども、対象に関しては、児童生徒さんと保護者さんまででよろしいですか。

委員長：ですね。はい。そうしてください。

事務局：はい、ありがとうございます。その期間につきましては、資料 1 の通り、7 月 4 日火曜日から 7 月 10 日の月曜日の午前中まで、大体 1 週間程度でよろしいでしょうか。

委員長：期日はもうこれでいくのが最短ですよ。最短なので面談等にかぶってないところもあるかもしれないけど、この期日で。アンケートを実施することになります。各校で通知は出しますよね。これね。通知は出しますので、心の準備ができるようには、学校の方で配慮します。はい。

事務局：はい、ありがとうございます。そうしましたら、児童生徒さんと保護者さんなんですけども、アンケート方法は、紙でやられるか、電子申請でやられるか。想定としては、児童生徒さんは紙で、保護者さんは電子申請なんですけども、こちらはいかがされますか。

委員長：いかがですか。これで大丈夫、子供たちはもう夏休み入っちゃうので、学校にいる間に紙でもうばっと取っちゃうというふうにしたいと考えています。保護者の方たちは、電子。じゃあその形で。

事務局：はい、ありがとうございます。谷田部中には展示の予定はなくて、谷田部中のお子さんは予定としては、紙での回答というのが難しいので、電子申請でお子さんも回答は予定しています。

委員長：アンケートは今の方法で、項目は先ほど確認した項目で取るということになりますよね。

事務局：先ほど確認した項目で、児童生徒さんと保護者さん、同じ項目でアンケートの方はかけるという形で、進めていきたいと思います。

委員：アンケート用紙にみどりの学園義務教育学校が分かると記載していますが、新しい学校の制服を着るのは7年から9年生なので、これは分かっているのではないですよね。ちょっと誤解を生むかなと思ったので、ここの文言を見直いただければと思います。お願いします。

事務局：はい、事務局です。そうしましたらこちらの文章は令和6年4月に新しい学校ができますの一文で修正して、アンケート用紙の方は作り直させていただきます。あと何かアンケート用紙で特にご修正あるところがあれば。

委員：最後に1個だけ。ワッペンはこの制服を購入する時にはもうついてるってことですが、既存の制服を持ってる子達にワッペンを別売していただけるんでしょうか。

トンボ：ワッペンだけで販売ということも可能ですのでそこは大丈夫です。は

い。

委員：そこのポケットに、名札をパチッとつけた下にワッペンが見える感じですか。

トンボ：そうですね。はい。

委員：わかりました。

委員長：次回の委員会でアンケート結果から制服を決めるということですね。

じゃあ、制服は以上でありありがとうございました。はい。

事務局：それでは体操服の方について資料の説明をさせていただきたいと思います。資料1の方をご覧ください。こちらの方で体操服スケジュール案としまして本日28日、サンプルの方とデザインの方の調整をしていきたいと思っております。次回に、今回の調整事項を反映させていただき、第12回、7月13日の木曜日に新設校用のサンプルと体操服のアンケートの詳細の決定をしていき、アンケート期間を経て、第13回委員会の8月上旬に、アンケートの結果を公表し体操服を決定していく流れで進んでいきたいと思っております。資料2の方をご覧ください。こちらの方も体操服の今回のアンケートの設問までではないんですけれども、準備委員会の方で協議決定できるものは決定していき、サンプルの製作に反映していけるものは、していければと思っておりますので、お願いします。そうしましたら体操服メーカーさんの方から今日持ってきていただいたものについて、説明の方お願いしたいと思っておりますので、一旦委員長に戻したいと思っております。

委員長：はい、ありがとうございました。続きましてメーカー様から、体操服についてのご説明をお願いいたします。

ママダ：はい。前回の委員会におきまして改めて御礼申し上げます。前回A社ということで第10回委員会の中で弊社を選んでいただきましてありがとうございました。弊社ですけれども茨城県の筑西市に本社を持ちます、ママダスクールソリューションサービス株式会社と申します。本日はよろし

くお願いいたします。今ほどですね、新体操服のご提案ということで、皆様の方にお配りをさせていただいたんですけれども、前回の委員会で委員の方々からご要望いただいたカラーでありますとか、デザインでありますとか、そういったものをもとに、この提案書を作成させていただきました。ただ①、②、③ということで3つのデザイン案をご提案させていただいたんですが、現物につきましては、ちょっと日程的なこともありまして、このCGのデザイン画というものを用意して、ちょっと本日、お目見えさせることができませんでしたので、素材につきましては、この資料にあります3つの素材、あとパターンですね。大元のパターンについては、この3つのデザインのことを概ね網羅したものを本日お持ちさせていただいております。あと半袖につきましては、あちらの横にかかっておりますけども、「あ」、「い」、「う」ということで、カラーのTシャツを含めたものを3パターン今回お持ちさせていただいております。ではそれに基づきまして、1番から簡単に企画の方からご説明をさせていただきたいと思います。では1番の方からご説明させていただきます。ただですね、1番の方、こちらはですね、プレゼンの際に見ていただきましたデザインを基にして、今回ご指定いただいているスクールカラーで、色の変更をさせていただいたもので、今回ご準備させていただいてます。プレゼンの時とは違いまして、こちらの方はですね、ファイテンのブランド付ということで、お値段の方も考慮しまして、素材のみちょっと変えさせていただいて、こちらは丈夫さが一番ということの、毛玉や引っかかりに強いものをご準備させていただいてます。コーディネートとしましては現段階では、紺色の同じファイテンブランドのものを今回はお持ちしています。はい。また最終的にお値段等々見ていただいて、Tシャツの方は、1と2を入れ替えたいとかいうご要望を後程伺いできればと思っています。そして、2番ですね。こちらの方はですね、プレゼンの時にご説明差し上げた防風機能のついた薄くて

軽い生地で、ブランドの方を弊社のカンコーブランドで、価格の方を少し調整させていただいたものでご提案になります。あと反射の機能の方、ちょっと重要視したいというようなお話もいただきましたので、今回こちらの方はですね、こういったラインですね、ジャージの方も T シャツの方もこちらの袖に入ってるラインの方もすべて光るものでご用意させていただいてます。全アイテムに反射の機能をつけさせていただいてますので、こちらが一番安全面に考慮したデザイン性を取り入れたものになっています。あと今回ですね、ちょっと商品の方が間に合わず、紺色のベース、グリーンをメインにしたベース、ということでお話しはいただいたんですが、今回ちょっと紺色のものでしかご用意ができてませんが、提案書の方に入れたように、こういうグリーンベースのものというのもご用意することは可能になりますので、そちらもご検討の際に、よろしくお願ひいたします。こちら切り換えが入ってるグリーンの色がメインのカラーになったタイプもご準備可能です。最後のタイプ。こちらの方はですね。黒ベースのものということで、今回ご指示いただいていたんですが、弊社の方でちょっと黒ベースの商品ご用意できず申し訳ないんですが、こちらのデザインを基に、提案書でご提示したカラーで私たちの方は、今回は考えております。グリーンの方、1番、2番に関しては、少し落ち着いた色見と思っておりますが、小学生も着るものですので、今回黒ベースのものに関しては少し明るいグリーンでのご用意はどうかなということで、明るめのグリーンでデザイン画の方は準備させていただきました。こちらの素材につきましては、軽量感とストレッチ性を重視した素材で、今回プレゼンの際には1度もご提出してないものにはなりますが、研究学園の学校さんでも、こちらの素材一番の人気でしたので、はい。全国でもこちらの素材が、やはり一番人気にはなっておりますので、今回ちょっと一度持ってきております。皆さんちょっとこちらの素材をまだ触ってない方もいらっしゃると思いますので、

また後程、手触りも確認して、はい、ご提案いただければなと思います。ただし今回ご用意したものそうですね、あとこの後は価格面の調整にもなりますが、今回コーディネートしたものはすべてデザイン性が入ったTシャツのものでのコーディネートとさせていただきまするんですが、提出枚数も購入枚数も多いですし、お値段、ここで一番調整するのがいいのかなと思ひまして、無地のタイプで同じ機能を持ったものも、「あ」、「い」、「う」というページに、今回はご提案させていただきますので、そちらも含めて、皆さんの方からご意見いただきたいと思っています。はい。私達の方から以上となります。

委員長：そう長い時間が取れないと思うので、実際3分程度で触ってみましょう。決めなきゃいけないですね。はい、そしたらですね、ジャケットの種類、チャックの種類、襟型、それからパンツの種類、ファイテンの有無。それから長袖・半袖とかの組み合わせについて聞いていくんですけど、まずジャケット種類でフライスカボックスかっていうのが、前回選択になっていてそれ今着ているのは全部ボックスですよ。これはフライスですよ。うん。それがついてるかっていう。はい。そこからちょっと聞いていきますか。今こう着ているボックスタイプがいいか、フライスタイプがいいかっていう。いかがですか、皆さん。アンケートを聞いていくと。という形ですね。サンプル作っていくっていう形ですね。フライスの方は下げてください、ボックスだけで考えていきましょう。チャックですけども、真ん中が全開、両サイドが半分ですね。かぶり式のね。これいかがですか皆さん。

委員：はい、前回の時にはですね、低学年のお子様たちも考えると、ーフジップのほうがいいという意見もあったので、うん。いいと思います。

委員長：いかがでしょうか。これ全開か半開かで金額違ってくるんですけど。

ママダ：はい。

委員長：聞いてもいいですか、全開か半開で。聞きますよ。どちらか1回手を挙げてくださいね。全開が良い方いらっしゃいますか。半開がいいっていう人、はい。多数で半開でいきましょう。襟の形ですけれども、スタンドかラウンドかって言うんですけども、今マネキンが着ているのはスタンドですか。

ママダ：そうですね今回は3体とも、スタンドタイプでお持ちしております、はい。うちの方ではですね小学生がこの大きめを買った時に邪魔にならないように、ここの襟元、つけ根のところまででファスナーを止めて、この襟先を丸くしてるタイプもご用意することはできます。主流は今回お持ちした一番上までファスナーがしっかりして防寒ができるタイプが、はい、人気はあります。

委員長：なるほど。途中で止まるか。全部閉まるか。お伺いしてもいいですか。

ママダ：主流は上まで上がっちゃうやつですね。値段は同じぐらいです。

委員長：ではお伺いします。襟の形ね、上まで上がるか、途中で止まるかで聞きますからね。上まで上がった方がいいっていう人、はい。皆さん上まで上がった方がいいんですね。上まで上がるタイプですね。パンツの形ですけどもストレートか、セミストレートかって言うんですけど、違いはええと、それストレートですね。

ママダ：これですね。これも同じですねストレートです。はい。多分この両サイドが割と太めで真ん中が、セミぐらいです。今また細身が少し流行ってはきていますので、はい。もう少し前はこういう太いタイプが流行ってまして、お値段は同じぐらいです。そうですね、裾にはなりますので、もも周りあまり変わらないようには設定はしてるんですが、中学生の男子とかはもう靴を履いたまま脱ぎ着をしちゃうっていうふうに言って、あんまり細いのは面倒くさいっていうような生徒さんのご意見をいただくこともあるんですが、今回は小学生から履きますので、昔のものは割とフ

ファスナーがついてたりしたものを買ったんですけど、今の安全性もあるのと、あと裾上げもできないということもあって、ファスナーを付けなくなってますので、太くて困ることはあんまりないとは思いますが、ただ大きいサイズを買った時にはやっぱりちょっと目立ちますよね、太い方が。そうですね皆さん少しやっぱりどうしても大きめを購入して、ちょっとお家で上げてるっていうようなお母様方の方が多いようです。そういうことを踏まえたら、上げた時にちょっと太くなるので、このスレンダーのタイプでも、はい。あんまり細すぎず、使っていただけたらと思います。

委員長：じゃあ聞いてみますか、いきますよ。ストレートかセミストレートか聞きますね。ストレートにしますっていう方、はい。8。セミストレート。3人。ストレートでいきたいと思います。ファイテンって生地でしたっけ。ロゴでしたっけ。

ママダ：テープを入れてます。磁石、チタンのネックレスと同じものになります。あとは例えばそうですねこれの、この3番皆さんやわらかくてとおっしゃっていただいたんですが、その生地でこのデザインっていうことも、ご対応は可能になります。

委員長：ファイテン入れるか入れないかってことですよね。

ママダ：首とロゴはセットになりますんで、すべてなくなると思っていたいで、はい。あと中学生になったときに、この部活動のジャージを今まで準備していたという部活が、ブランドの体操着になったらもう体操着一本でっていうような、お値段は上がるけどっていうような学校さんも、多いのですが。今回の場合は小学生から着ていただくということで、6年間はブランドあまりいらなかなと思う方もいらっしゃると思うので、それを踏まえて、はい。

委員長：じゃあ、ファイテンあるか、なしかで聞きますよ、皆さんよろしいですか。ファイテンありがたい方。はい。じゃあ、なくて良いということで、

決定したいと思います。

ママダ：今回ご提示させていただく中で、色が、こちらは一応ずばりのもので、はい。一応紺にグリーンという形をご用意しようと思っています。はい。こちらがですね、今回お持ちした方のカラーの方がよろしければ、この紺に緑。デザイン画の方は緑ベースにっていうことだったので、はい。どちらかをお選びいただけますか。デザイン画でご提示させていただいてる方がいいということですかね。わかりました。1も2も、デザイン画のコーディネートで、ご準備させていただく形で大丈夫ですか。

委員長：ちょっとこのデザイン画で見ていきますけども、3点作るわけですよ。1番はこのデザイン画の通りで大丈夫ですか。今あるタイプをファイテンはなくした形で、あと一応紺色のTシャツはあった方がいいかな。そうですねTシャツは、一応私の方の絵ではこちらのものでご用意してます。こちらもしたらあれですよ。ファイテンをなくした形がいいということになりますよね。はい。あれはあのままでアンケートかけてもいいんですかね。よろしいですか。

ママダ：はい。ファイテン外しますと、大体概算で500円ぐらい下がるようなイメージです。

委員長：今見ているTシャツは3,000円。

ママダ：一番高いのは2番の素材になります。Tシャツはですねどれも、1番、2番、3番どれも一緒にはなりますが。

委員長：何かだけ価格がちょっと違うよね。

ママダ：2番が多分、提案させていただいてる価格はファイテンがあるのとオリジナルのお値段になっている分で、ちょっとお値段の方、一番の方が高くなってるかとは思いますが。

委員長：1番でファイテン抜くと2番になる感じですか。

ママダ：お値段は大体300円から500円程度は、一番今提示させていただいて

てる金額から、お安くなる。あとはですね、2番はこの切替の数がちょっと多いということがありまして、もう例えば肩口のグリーンだけ残して、このお腹のところはなしにするとか、ということになれば少しずつお値段の方は、検討していただけるかなとは思っています。

委員長：そうすると、アンケートを取るときに、展示する物が間に合わなくなる可能性ありますか。

ママダ：いえ、13日に間に合うように最後は皆さんにちゃんとした形で見たいだけだと思ってますので、今日、ご要望いただいて、例えばこのデザインで、ここの切り換えをなくしたものでというふうにお返事いただければ、展示の時に、こういう準備をしたいと思っています。

委員長：概ね1番については、こういう形でいいですよ。いじるとしたら、Tシャツのその部分ということになりますか。どうですか。そうなんだよな。うん。

ママダ：値段の問題ですけど。それかですね、私たちの方で紺色のTシャツ。最終的にはこれでコーディネートを組みますが、無地にした場合はということでもう一つ、この紺の無地をご用意させていただいています。

委員長：これだといくらですか。

ママダ：それはですね提案の「う」のTシャツでお値段提案してるものです。最後、例えば無地にこれを1で、1のTシャツを止めて、1と、「う」っていう組み合わせであれば、この値段ということでアンケートのときに、要望を伺うような形で委員会の皆様に調整していただくというのでも構いませんし、はい。

委員長：1のこのセットは買っておくが、洗替としてこっちを買うだから、ジャージのほうはもういじりようがなく、ファイテン外したからジャージは。Tシャツをどうするかですよ。じゃあTシャツはそれでプリントだけ考えればよくて、あちは変わらないので、もしお値段的にやるんでし

たら、このものに一色刷りでそういうプリントをやってオリジナル性を出す方が、小さなこと聞きますので、うん。でしたらそちらの方がご提案としてはいい。だから2つてことですよね。

ママダ：そうですねほぼ2ぐらいの切り換えで、紺色。

委員長：紺のやつで②みたいなものがいくらでできるかっていう。それだと2,000円台ですか。

ママダ：ちょっと2,000円台かと言われますと、私の口から今何ともなんですが。わかりました。「う」タイプに、このグリーンみたいなのを色に合わせたものをお入れするっていう感じぐらいでいいということですね。緑の線が入っていて、背中のところ、首のところに緑が入る感じ。袖ラインをつけて、切り換えもつくと、多分あんまり先ほどと1は変わらないとは思いますが。みどりののとは素材がちょっと違っておまして、あとちょっと時期も違う。価格の設定した時がちょっと今値上げしてますので、はい。

委員長：プリントだと洗って落ちちゃう心配はないですか。

ママダ：あんまり落ちるっていうことはないです。アイロンだとちょっと取れちゃうとかありますが、インクの方で入れさせていただきますので。あとメーカーさんのブランドが違うので、はいみどりのさんと同じやつの紺色がちょっとご準備はできない。

委員長：上着はあのままでいき、シャツは今持っていたいでるやつに学園名が入る。学園名入れて切り換えなしの。

ママダ：例えば背中の、さっきのみどりのみたいな。後ろ側には緑切り換えを1ヶ所のみ入れて、お袖のラインはなし。マークの方を胸に入れるとかなれば、前も後ろもグリーンの方が、見れるような形にはなりますし、袖に入れた方がよろしければ、この両方から見えますので。

委員長：それでおいくらぐらいですかね。

ママダ：大体3,000円ぐらいかと存じます。ジュニアサイズの方ですので、大

きいサイズ中学生サイズになると、大体 3,000 円税込みで 3,000 円。

委員：あと紺色にすると暑さというか、熱吸収的にはどうなんですか。いい生地になればそれは通気性がよくて、暑くないよっておっしゃるかと思うんですけど、「う」の場合にして、紺色だったらば、汗というかその通気性というか、そういった暑さとかどうですか。

ママダ：通気性と吸汗性は、今回 3 素材をお持ちしていますが、すべて変わらないようにはなっていますが、熱の吸収はどうしても紺色が多くなりますので、多分着用してて熱が一番籠りやすいのは、紺色にはなります。なのでプレゼンの時には白で、透けないよというようなものを見ていただいたと思うんですが、あちらの素材の方が、やっぱりこの衣服内の温度が、紺色のものと比べると 2 度ぐらいは違ってしまうので、着ている生徒さんたちの体感的には、やっぱり白の方が、ただちょっとお母様の手間を考えると汚れのこととか、紺色の方が安心だったり、男女問わず、紺色が安心だったり、生徒さんの人気があるのは紺色です。

委員長：じゃあ紺は決まりですね。T シャツはね。紺で後ろの襟のところのやつを入れるってことですか。多数決しますか。無地か、背中のところのこういうのが入るかどちらかで聞きますよ。無地がいい方。じゃあ入れるって方。入れましょう。1 番の図、ジャージそのものはそれで T シャツは、背中に背中というか首ところに、切り換えが入ったもので用意してもらおうと。ハーフパンツどうでしたっけ。

ママダ：ハーフパンツは一応こちらのズボンと同じぐらいのものをご用意するつもりです。デザイン画 2 は先ほどご要望いただいたように、カラーの方をデザイン画の通り、上をグリーンベースのもの、下はですね、ごめんなさいこの切り換えをグリーンで合わせたもので、はい、ご準備させていただく予定としています。ああいう緑が多いこちらのもので、今回はご準備させていただきます。

委員長：ハーフパンツ緑の、シャツが白。

ママダ：はい。ハーフパンツの方もですね、パンツと同じ紺に緑というものがご用意できますので、今、ご検討いただければ、パンツと同じデザインのものか、その逆か。はいグリーンになります。すみません、これがですねちょっとご準備できないデザインになってまして、こちらがちょっとごめんなさい。はいここがグリーンになります。短パンは、グリーンベースのものでよろしければこれずばりのものを準備します。長ズボンと一緒になれば全く同じですね。紺色グリーンですね、で白いラインが入ります。はい。ここにラインがちょっと見えてないんですが、同じものになります。

事務局：いいですか。ハーフパンツがその紺に変わった場合に、上のTシャツが今緑のところは緑から変更ありますか。

ママダ：襟元がグリーンから紺色がよろしければ、紺色のご用意もできるのですが、一応ですねこのグリーンはグリーン、紺は紺っていう形で、ご準備させていただいて、色のこの絡みがありまして、揃えさせていただきたいのが私たちの第1希望なんです。グリーンがこの夏のときすごく減ってしまうので、どちらがよろしいかなと。はい。今回すべてのものにグリーンをとということで、はい。それか、このグリーンパンツを残して、シャツの方を紺色のコーディネートに変えるというのでも、いいです。紺に紺のものが、ご用意できますので。このラインとおそろいの紺色が入るようになります。首元も紺色になります。ハーフパンツを履いた時はグリーンとグリーンにはなってしまいますね。パンツとハーフはおんなじデザインの長いものと短いものでご用意した方が、いいですかね。はい。黒にしたら別になります。この紺色の首のものに変えるかハーフと、これは同じものがいいですよ。

委員長：あれに紺のパンツってことですよ。まずいきますよ。緑か紺かで聞きます。ハーフパンツは緑がいい人。少ない。じゃあ紺ですか。紺がいい

人。紺が多いですね。じゃあ T シャツを聞きますけども。下が紺のハーフパンツになった時に、上はこのままでいくのか、色がついてところが紺になるのかで聞きますよ。T シャツね。このままか、ハーフパンツは紺ですよ。はい。上の T シャツはこのままいくのか。あれの襟と緑になっているところが紺になるか。はい。

委員：すいません1つ。さっきのみどりののやつの白のやつ後ろの部分。緑の方の白がいいかなと思うんですけど。今、後ろ部分を緑に変えてもらったもので、2番はみどりののやつ後ろの水色の部分を緑に変えてもらう。

ママダ：形もデザインもすべて同じでってことですか。みどりのと同じデザインの色違いみたいな形。

委員：2に近いような形の方がいいかなとは思うんですけど。

ママダ：ちょっとごめんなさい、T シャツの素材がですね、ちょっと全く同じものは使えないんですがそれは大丈夫ですか。

委員長：似てるようなもので、こういう近い感じのものでご用意するっていうことですね。はい。その緑か紺かを聞きますか。下が紺だからね。そういうイメージですよ。はい。だから緑になるかっていうところですよ。水色のところが、うん。そうすると緑じゃなくて紺。丸のところをもう色なしにしちゃって、ラインは生かす。その紺か緑かを聞く。下が紺だから。そうか、ラインが緑だから、上が緑でもおかしくないってことですね。みどりの南だからみどりのままでいいですか。紺、聞きますか。シャツの方は緑でいいですか。はい。じゃあ、その形で2番はOKですよ。3番目は何でしたっけ。近隣にないんですね。

ママダ：はい。ご提案できてませんでしたので。黒ベースと全身黒はちょっと重いかないと思ひまして、お袖の方は、デザイン画のように紺色で、提示させていただきました。

委員長：それで緑のラインが入っていると。

ママダ：緑、そうですね黒になるので、今回は明るめのグリーンをちょっと今回は、はい一応イメージして、デザイン画の方は作らせていただいています。

委員長：ハーフパンツ同じような形になり、Tシャツは。

ママダ：グリーンの切り換えを入れさせていただこうかなとは思っておりました。ただ、そうですね先ほど近くで見ていただいた方に、このゴールドのラインもっていうお話はいただいたので、ただ、そうすると3番のタイプがちょっとなんかグリーンも、なくなってしまいますが、近隣でゴールドのデザイン、使っていらっしゃるところはありませんでしたので、黒にゴールドのライン残していただくというのでも構いませんが、ちょっと小学校一年生には大分、大人っぽいかなっていうところはあるとは思いますが。

委員長：じゃあデザイン画の緑のラインにするか、ゴールドのラインにするか。

ママダ：はい、デザイン画の方で、この見頃に使ってる紺色を袖に持ってきて、この全身の方を黒でというような感じで色は入れさせてもらっています。

委員長：この紺色残るところを黒。ちょっと聞いてみます。いやこのデザイン画でいくか、ラインがゴールドになるかで聞いてみますか。

ママダ：多分あんまり何かこういう感じのお色のチェンジされてる学校さんは少ないので、ただ何かブルーを取り入れてる学校さんは、多いようですので。そこだけが気にはならないということであれば、一応何かご要望に合わせてとそういう感じでデザイン画の方でご準備してきたんですが、見ていただいた方に割とこのままでもってというようなご意見も今日あったので、はい。そのままグリーンのことを今回外してご提案することもできます。紺色に例えばこのグリーンの袖を準備することもできます。こちらの最初のご要望通り、紺色のところをすべて黒に変えさせていただいて、ブルーのところをグリーンに変えるっていう形も、ラインの方はこのままゴールドを残させていただくっていうのも大丈夫です。あのグリーン

とは素材違うんですが、近いものをご準備しできる中で一番近いもので準備します。この素材でご準備できる中で一番近いものということしかちょっと今お約束できなくて、はい。なので例えばこのデザイン気に入っていただいているので、例えば黒にして、お袖をグリーンにして、パンツの方もメインを黒にさせていただいて、切り換えをグリーンっていうのが一番近いのか、もしくはこれにもっと近くするのであればもうグリーンにして、お袖を黒、パンツをグリーンっていうのが、このコーディネートが一番近いですね。そうですね。はい。

委員長：違いを出すんだったら、黒ベース。

ママダ：そうですね、はい。多分一番落ち着いているのはこのままお色を生かしていただくのが、一番、はい。多分グリーンにゴールドで多分黒で、ここにも、黒ベースにゴールド入るようになりますので、はい、綺麗に入るとは思うんですが、ちょっとグリーンが全くなくなってしまうということに、あ、でもお袖にグリーンが入ればいいですかね。はい。3コーディネートちょっと違う形なので、はい。選びやすいかもしれないです。あとお袖ですね。タイプが多分1番皆さん見ていただいたことが多いと思うんですが、この形が一番しっかりと止まる形になりますので、今回は一応2つを袖口見ていただけるようにご準備してますが、やっぱりこっちがいいですよ。

委員長：1番の方はそれでいくんでしょ。3番をどうするかですよ。3番は3番の袖でいきますか、それとも3番も1番の袖にさせていただきますか。聞きますか。じゃあ3番はあのタイプの袖のままいくか、1番のような袖のタイプでいくかで聞きます。3番は、今あの状態のもので、いきたい人はい。2人。1番の袖のタイプがいい。はい。1番がいいですね。袖のタイプは3番も1番のものにさせていただくということで。黒ベースの袖が緑でラインがゴールドでいいですか。じゃあゴールドでいいですよ。

ママダ：T シャツは普通はですねもしそちら私たちが提示させていただいたも

のでよろしければ、今回明るめて準備をしてましたがこのお袖に合わせたグリーンの少し落ち着いた色の方で、Tシャツの方はデザインそのままに、色だけこのグリーン合わせでご準備させていただければなどは思っているんですが。

委員長：T シャツこれでいいですか。このタイプで。洗い替えを買うのに自由度を持たせた方がいいですか。

ママダ：そうですね、2枚の指定品は、これということで決めていただいて、紺色2枚目はこの色っていうのは学校さんで、最終的に先生がお決めになられる場合が多くてですね。はい。学校として、白着たり、黒着たり、紺着たりっていうのはやっぱりちょっと困ってしまうなというような校長先生方もいらっしゃいますし、はい最終的には選択購入品か指定品かっていうのは、先生方のご意見を一度お伺いした方が、はいよろしいのかなとは思いますが。あとはつくば市内で今2種類のTシャツを採用してる学校さんは現状ないのですが、近隣の中学校さんですと、数年前に水海道中学校さんとかで2本立てでご採用されている学校さんもございました。

委員長：どっち着てもいいってことですか。

ママダ：着用については例えば、体育祭では白にするとかにしていました。夏場は紺が熱いってことで。

委員長：2種類で販売した場合に何か変わってくることはありませんか。購入側としては。

ママダ：特にはございません。

委員長：例えば、1番。どれも白と紺を作る。白いところを紺にしたものにしてもらうとかというふうにしたら、何か金額的に変わってくるものってあるんですか。

ママダ：選択肢が広がるということだけで。

委員長：色違いのTシャツができるっていう、それはできるんですか。

ママダ：それはできるんですが、先ほどと同じように学校さんのご判断で使い分けですよね。あとアンケートの取り方なんですけども、先ほどご懸念されてるのが、1番、2番、3番っていうことセットでアンケートをとられると例えば3番のシャツを選ぶと自動的に白のTシャツがついてくるっていうふうなご懸念かと思いますが、アンケートの取り方で前回新設校の時にあったもので、長袖上下、ハーフパンツについて1、2、3番で、別にシャツは例えば「あ」、「い」、「う」っていうことで、その方がどれがいいかという選び方をして、今回、ご提案いただいたコーディネーターの中でも、1番、2番、3番の中で、半袖はどれを選ばれても、多分マッチングするんじゃないかと想像できますので、そういったジャージは3、Tシャツは、「あ」の紺がいいというふうなアンケートの集計はできたと思います。

委員長：だからジャージの上下とハーフパンツは決まりだよと、上下セットとして。Tシャツは、「あ」、「い」、「う」のどれ選んでもいいよと。だから、1番の「う」のセットと2番で決めた白のやつと、3番で決まってくるであろうこの白のやつと、その3種類から選びなさいよということですか。そうしますか。

事務局：1点、確認していいですか。2番のTシャツの件なんですけど、デザイン画で確か首のところの緑を抜くっていうことだったと思うんですけど、その場合は素材は2番のこのTシャツ、UVカットの素材のまんまなのか。後ろに「あ」、「い」、「う」にある「い」の素材にラインを入れたタイプの価格になるのか。

ママダ：同じ位の素材も2番の素材も同じ素材にはなります。

事務局：「い」と2番の素材って同じですか。「あ」、「い」、「う」は何か、1個1個素材が違うような感じになってますけど。

ママダ：「あ」、「い」、「う」自体は違うんですが、はい、2番の素材と「い」

の素材が一緒です。

事務局：2の素材は一緒なんですね。

ママダ：「あ」と「い」素材は違います。なので、「い」のデザインにこのラインが入ったみたいな仕上がりになります。素材も今回お持ちしてるものと同じものをご準備します。

委員長：はい、お願いします。

委員：ファイテンにこだわってるわけではなく、1点だけ。ファイテンを外したことによって、多分1番だけ反射材がどこにも入らなくなってると思うんですけど、2と3は多分残ってて、そこはどちらかという、皆さんそれで大丈夫ですかと。別にファイテンを戻して欲しいわけじゃなくて、なくなっちゃってますよっていうところで、大丈夫ですかという。

ママダ：こちらファイテンのものになってしまうので、あのタイプのものであれば、ここに入れることもできます。そうですね。全くないものよりは、はい。

委員長：反射材はなくても大丈夫そうですか。

委員：1つ提案ですけど、Tシャツについて今2種類用意できるっていう話なので、紺は1つ決めてしまって、2と3のデザインを選択してもらって、2色展開っていう方法はどうでしょうか。2色選べるのであれば、別にはなからこの3つの中から選ぶ必要もあんまりないのかなと思ってまして。だから紺はこのデザインでいきます。それで白については2個提案があったのでどちらかを選んでいただいて、紺と白をそれはもう買う側の方で判断して、値段等は自分で判断して買ってくださいよというところで、あとはジャージを選んでもらうというアンケートの取り方ってどうでしょうか。

委員長：TシャツはTシャツで選ばせるってことですよ。

委員：ただTシャツも紺は1個しかないんで、紺の1枚は決まりで、白の2パ

ターンの中から選んでもらう。

委員長：だけど紺だけの人もありますよね。

委員：そういう人は紺を買えばいいだけなんで。

委員長：白が良い人は白だけの人もあるし。両方、白と紺を買って、どちらをこうやっても構わないわけですよ。現状でいうと3つ出ていて、もう紺は1枚しかないんでこれもう選択肢がないので、紺はもう1枚決定的なところに置いといて、白の2色、2パターンの中から選んでもらう。白ベースのものと、紺ベースのものを学校としての指定品として、用意する。買うのはどっちを買ってもいいですよっていう選択肢で、アンケート取ったらどうでしょうか。もう紺は決まりだからいいのか、アンケートなくて。

委員：もしあれだったら、紺でもう1案出してもらって、選んでもらう。

委員長：いいんじゃないですかね。白は2と3で出てきたもので考えてもらえばいいですよ。紺は1個しかないから。

委員：紺と白の両方を学校で定めた体操服にするんだったら、色を反転するか、デザイン性の統一感がそれぞれあったほうがいいんじゃないかなって、すいませんちょっと議論を戻しちゃうかもしれないんですけど。今3種類ありますけれども、この3種類のデザインパターンなのか、そのうちの2つをここで選んで、その紺バージョン、白バージョンでもう1つの選択肢として、もう1つの反転バージョンみたいなのはいかがでしょうか。

委員長：ジャージを3つじゃなくて、2つにするってことですか。

委員：そうじゃなくて、1番の、さっき言った紺のやつと、白のやつを作っていたら。

ママダ：決定したデザインで2色ご用意させていただくっていうことでは、難しいですか。ちょっとですね、時間があまりなくてですね。例えば1のTシャツのデザインで決まりましたという場合には、今回は紺のご提示でしたがデザインか何かで、この白に緑のものも、目で見られる形では商品でな

く、資料として出させていただきますので、最後決定したデザインで学校さんとのお話もあると思いますので、最初のお色を決めていただくっていうようなことで、13日からの展示はちょっと数量が多すぎてですね、ちょっとなかなか間に合わないかもしれないので。

委員：4枚ですが間に合わないですか。今言っているのは、別に3パターン全部じゃなくて、2パターンでっていう。

ママダ：1つデザインを落としていただくっていうことですか。

委員長：Tシャツはちょっと元に戻して、その背中のところは緑になるって言ったんですよね。その白と紺のタイプ、紺の緑のっていうふうにはい、それでいいんですよね。それで緑が入ることですね。もう1つはもう決まったやつ。

ママダ：このデザイン画のみの方のどちらか。じゃあデザインを3つの中から2つに落としていただくっていうことを今からしていただくっていうことですね。はい。

委員長：そうですね。プラス1なんで、はい。ぎりぎり4つ、はい。

事務局：今言ってるのは、紺のタイプで緑後に入ってるのと、白で緑が空いてんですよね。それで選ぶってことになるのと、一番最初に言ったのは、紺は指定なんだけど、白はプラスアルファ。

委員長：どっちかになっちゃう人もいますよね。うん。

事務局：紺が全体の統一として、プラスアルファで白も選べるようにしますが、白を選ぶ場合は、2か3どっちがいいですかっていうことだったので、紺は絶対で、白も欲しい人は選べますが、その場合どっちですかってことだったんですが、今、白と紺で選ぶってことだと、紺は絶対的ではなくなる。

委員：そういうことじゃなくてセットです。同じデザインの色の反転をしているはずなので、してもらうので、デザインを選ぶ。

委員長：じゃあ白と紺の両方買うってこと。

委員：いや、買うのはもう個人にお任せします。どっちを買うかってのは。あくまでデザイン。ただ、デザインとしては共通していると思うので、それは大丈夫かなとは思いますが。デザインはこれ1パターンしか出てこない。最終的には1パターンだけあって、ただそれが白か紺かは自由にします。

委員長：それ、決めましょう。何でしたっけ。2パターン作る。2つのパターンを作るっていうのと、何でしたっけ。3つのデザインでワンセットで選ぶっていうことですか。ジャージもTシャツも、もうそれしかないっていう選び方をするってことですか。セットでね。わかった。じゃあ聞いてみましょう。じゃあデザイン画の通りに選んでいただくか、Tシャツは別にするかってことですよ。じゃあ聞きますよ。デザイン画の通り、選択肢を与えて選んでもらうっていう人はいい。6。Tシャツは別に選んでもらおうと、2つパターン作って。1、2、3、4、5。はい、では、このまま、デザイン画のままいくということにしたいと思います。

委員：ちょっとさっきの反射板の話が途中だったんですけども、よろしいでしょうか。ファイテンのロゴなくなっちゃうと、何もないですよ、多分ね。だから、カンコーさんのロゴが入った方がいいと思うんですけど。

ママダ：そうですね。胸の方にこのカンコーというロゴを入れさせていただくか、この点々ですね。うん。ブランド名が全くはいらない位置に入れさせていただくこともできます。

委員：私の実感として、もちろん皆さん違うのかもしれないけど自転車に乗ったり、或いはもう遅く部活動終わって帰る時っていうのは基本、大きいバックを持っていると思うんですよ。そうするとやっぱり、その小さい反射板よりか、もうちょっと意識的にバックに反射板をつけるとかというふうにしないとやっぱり全体的にジャージも暗めできると、そのちっちゃい反射板で効果があるのかなっていうところはちょっと疑問に思います。

委員：それは何かわかります。あれありきのデザインでこうしまってるように見えるので。

ママダ：先ほど仰ってました、学校名を入れるか入れないかということにもよりますので、背中の方に大きく学校名が入ればさみしくはなくなりますし、今回、小学校1年生から中学3年生で、サイズの方がすごく幅広くなりますので、大ききの統一を出すのであれば、胸マークの方がおすすめにはなります。背中だと同じ大きさのものをそれだけ年齢の幅広いもの、洋服の方に入れることができないので、やっぱり小さいサイズを基本に、マークのサイズも設定していくことにはなります。あとこのマークがなくなった分、反射がいらなければですね、ここにワンポイントのマークを入れることもできます。なので反射は機能として、やっぱり安全面を考えてつけたいかどうかで、はい、お選びいただいた方が。

委員長：はい。入れるか入れないか聞きましょう。反射素材をつける。入ってるという人、はい。4。付けなくて良い。1番はつけませんということですよ。というわけでデザイン画通りの、ここで検討したこともありますけども、デザイン画通りに作っていただいて、サンプルを作っていただいてアンケートに臨むということになりました。大丈夫かな。そのようになります。事務局さん。

ママダ：1つ確認させていただきたいんですが、展示の学校さんの方が、小学校が1つ。あと現在の小中一貫校様1つということなので、小学校の方にも、この大人のサイズでご用意させていただいても構わないか、ちょっとちっちゃい130ぐらいのもので、全部このサイズで2校分同時にご用意させていただくという形なんですよ、順番ではないんですよ。わかりました。じゃあこのサイズで2校分、全く同じものをセットでご用意させていただきます。展示の際はですね、今回ちょっと夏物の方は着せていないんですが、フルで6体ずつご準備させていただくような形がいいですかね。

わかりました。半袖、長袖3種類っていう形で、6タイプご準備させていただきます。

委員長：その方がいいですね。Tシャツもちゃんとわかるからね。はい。

ママダ：展示の前に、13日の段階で、こちらに最後のサンプルをお持ちさせていただくということでの段取りでよろしかったですか。

事務局：はい、事務局です。13日はそのようなスケジュールでサンプルの、今回の委員であった意見の方を反映させた体操服の方持ってきていただいて、次回、アンケートの詳細で期間の方も決めていくんですけども、予定としては、7月18日の火曜日からアンケートの方を開始していきたいと思います。アンケートの期間の決定は、この13日の委員会で決定していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

委員長：いかがですか。短いすよね、これ。夏休み前に終わるアンケート自体を終わらせなければ子供たちのね。大人は電子なので、ちょっとずらしたと思いますね。子供のはもう夏休み前に回収するっていうことで、短いす。だけど、大人の人たちのも、翌週になるっていう、展示は24日までしても大丈夫ですか、サンプルの。子供たちが見れるのは、夏休み前までということになりますね。そのように計画はしています。ここに提示はしてないんだけど、土曜日の午前中ぐらいまでは、と思っています。

委員：すいません。ちょっと蒸し返すというか確認なんですけど。デザイン画通り3パターン作ってもらって、Tシャツの方は2パターンですけど現物は難しいんで片方をパネル展示、片方現物ってなると思うんですけど。

委員長：パターンがなくなって、Tシャツもこのデザイン画通りのものができてくる。色の違いは、1番だけ紺がある。

委員：そうなんです。私の認識もそれで、デザインは3パターンですけど、Tシャツとしては、紺と白の切り換えのものがあるっていう認識で、先ほど手を挙げたんですけど、ちょっとそこがふわっと終わったなと思っ

て。多分認識として2こ紺と白を作るのは、確定というか、希望としては確定で、それをデザインを2パターンに絞るのか、それとも3つのままそれぞれ作ってもらうのかっていうところでの多数決かなと思ったんですけど。ちょっと違いましたか。

委員長：違いましたね。俺との認識が違うってことだね。

委員：そこがずれたままいったらまずいなと思ったんでちょっと確認したんですけど。2種類は最終的には作って欲しい。です。ごめんなさい色としては、紺と白は、最終的にはでき上がって欲しいんですけど。

委員長：そうすると1番は「う」が決定しましたから「う」ですよ。2番と3番のデザインについては、白ベースなんだけど、これを白いところを紺にしたものを作っていたかっていうイメージですか。

委員：はい。1番に関しても、紺が決定で出てきたんですけど、その白バージョンも欲しいと。

委員長：すべて2パターン作ると間に合わないってことですよ。

委員：間に合わないんで片方はパネルにしてもらっていいんですけど、確認したかったのは、パネルにしてもらう方の色を統一しなくていいですかっていうこと。要は展示してもらう方を、もう全部紺ベースにもらって、白のパネルにもらうか。白ベースで展示して、紺ベースのパネルにするか、それで多分印象って変わるんで。ていう確認の上で今ちょっと聞いたらその、その前の段階でちょっと不一致があるみたいだったんで、すいません、時間もさらにかかっちゃいそうですけど、大事なことで。絶対に買う方を皆さん見られた方がいいのかなと私は思いますが。

ママダ：紺色ベースの方がわかりやすいかなとは思いますが。

委員長：それで大丈夫ですか。そういう認識で大丈夫ですか。それは時期的には大丈夫なんですよ、両方持ってるわけじゃないから。

ママダ：そうですね、今回ご用意するのと同じ数でいきますので。展示のTシ

シャツだけ2色載せたもののパネルをご用意させていただければ大丈夫ですか。展示はこちらの紺のみというようなコメントをつけさせていただいて、はい。

委員長：アンケートとしては3番を選ぶとか、2番を選ぶとか1番を選ぶっていうアンケートでよくて、それでものが決定したら、白を買おうが、紺を買おうが大丈夫ですよっていうことですね。はい。

事務局：よろしいですか。それは、次、13日に紺ベースのものは持ってこれるんですか。

ママダ：紺ベースの方をお持ちします。

事務局：白はパネルでもってこれるんですか。

ママダ：このデザイン画に2色。

事務局：というのを確認すればよろしいんじゃないですか。アンケートのパターンも、先ほどは半袖も含めてこのパターンでっていうアンケートだったのが、今の話であれば、研学でやったと同じように、上下とハーフパンツのセットで1、2、3で選ばせて、Tシャツは別パターンでやるアンケートにするかどうかになるので、それを含めて13日の時に、現物を持ってきてもらった上で、そのアンケート形式を決めれば。

委員長：いいですそれで。いやよろしいですか。はい。じゃあ事務局さんお願いいたします。

ママダ：来週はまたサンプルのご説明をする段取りと思ってよろしいでしょうか。それとも見本をお持ちするだけで、次回の検討会の時は。

事務局：次回は見本品を持ってきていただいて、商品説明はないですね。今、商品説明しましたので。変更点の確認だけをこちらでするだけになると思います。それで、この色合いがもし思ってたものと違うことになった場合に、それ以上の変更ができるかできないかで問題になっちゃうので、できるかどうかをお話してもらいながら、そうすると多分間に合わないので、

その場合はデザイン画だけになるパターンも出てきますよね。なので今回の変更した部分のを持ってきてもらった上である程度少しくなった、色合いをこうしたので、金額がいくらになるとかの説明だけになると思います。商品説明はないですよ。

ママダ：変更点の概要を説明ということで。

事務局：そうですね。今回のを指定したものが、この通りになったっていう形の説明と、プラス金額が今回出ているものから変わりますので、金額も大体どれぐらいになりましたっていう説明があるのかなと。同時にそのパネルの方にも金額の方が載る形になりますので、その準備をしていただくことですかね。

ママダ：商品の方は、大体これぐらいの金額で最後出させて、次のサンプルでいくんですが、今あのマークの件が決まっておりませんので、マーク代は別という形の展示でよろしいでしょうか。

事務局：それはかまわないです。展示物についてアンケートやる時のやり方で、今後、例えば校名が入るようなプリント代はまた別途になりますって書けばいいだけだと思うので。その辺抜いた希望小売価格はいくらですって書いていただく形だと思います。はい。

委員長：質問等ございますか。特にない。協議はこれにて。

事務局：はい、事務局です。最後にメーカー様の方から委員会の方へご質問等ございますでしょうか。

ママダ：1ついいですか。先ほどマークの件をお話させていただいてると思うんですが、今回の展示のアンケートを取る際に、マークの必要、不必要等々も一緒に取っていただいて、商品を決めた後に、8月末ぐらいまでにマークの方も決めていこうというようなスケジュールになっていますか。マークのデザイン確定まで、8月中にいただければ、こちらの方の発注というか生産の方のところは9月に入ったりしなきゃいけない形になりますの

で、マーク確定が8月中でいただければ幸いです。

委員：学園名は議会で決まるんでしたっけ。

事務局：学園名ですか、学園名は議会じゃないです。学校名が議会なので、学校名が決まるのは9月です。9月以降じゃないと、学園名は決定しないです。学校名はいけるとは思います。

委員長：小学校がない。だから学園名じゃなきゃ駄目。だけど入れられないんだったら、なしだね。あとは南は共通だから、南にするとか。

事務局：今の学校名自体も、皆さんからいただいた、みどりの南小学校、みどりの南中学校っていうのはあくまで仮称で、議会でそれをいいですよって承認をいただかないとそれが正式決定はしないので、それに付随する学園名っていうことは、学校名を承認をいただかないと、その先にはいけないので9月以降じゃないと。

委員長：プリントはできないってことですよね。

事務局：今まで準備委員会で出てきた、学校名が議会で変わるってことは、今まではないです。当然皆さんのご意見だっということになるんですけど。

委員：学校名よりも、学園名であって、それがジャージに入らないとなるとっていうと、どこの誰みたいなことになっちゃうんで、学校名も正式決定にならないってことは学校名も入れられないってことですよね、現状だと。

事務局：学園名はごめんなさいちょっと何とも言えないですけど。学校名はそのまま多分行くとは思いますが。

委員：多分今までの中では多分はじかれたってことはないと思うんですけど、万が一はじかれた時に、もう生産入ってます。はじかれましたってなった時はどうなるんですか。だってもう、もし例えばマークを付けたら、もうその今の状態を出すしかないですよ。現状として、もし入れるのであれば。

事務局：学校名ですか。

委員：学校名が決まらないと入れないっていうんだったら、何もないのっぺらな状態で作るってことになる。そしたらアンケートを取る必要性ももはやない。そうなっちゃいますよね、そこんところに関しては。今までメーカーさんの方から、入れるか入れないかアンケート取ってくれっていう話だったんですけど、そこはまず、必要性がなくなっちゃいます。もう現状として入れられないですよ。学園名であったり、学校名であったりが。

事務局：学園名は難しいですよ。

委員：学校名ではなく、学園名を入れたっていう話だった。分かれちゃうから。

委員：ていう話で、そもそもが進んでたはずなので、いらないというか間に合わない。

事務局：今までの新しい学校は学園名入れてないので、入れていたのは学校名ですね。研学は入ってたけど香取台は入れてないですかね。

委員長：学園名はもう無理だから、しょうがないよね。何もない状態で作るしかないよね。学園名が決まった段階からの生産では付けられんだろうけど。初期の人たちは、ない。だけど、決められないなそれは。何もないジャージができるんでしょう、初回版は。だから初回版を買った人は、後で無償で入れてもらうとか。それだったらいいんですよ。ここじゃ決められないので。だけど、後から入れることになっちゃいますよね。入れるんならば。決まってからジャージだと、いや、開校の時は間に合わないけど、それまで今のジャージを着てるってことですよね。

委員：メーカーさんに聞きたいんですけど、9月に学校名が決まるとして、仮にこうした9月ぐらいに生産スタートした場合、どのくらいに上がってきますか。例えば、いや、5月ぐらいになっちゃうよ。例えば多分もう生産始めるってことですよね。8月中に欲しいっていうことは。それが9月にずれ込んだときに、実際商品が上がってくるのは何月ぐらいですか。例え

ばですけど。どうしても皆、学園名を入れたいっていうのであれば、1、2ヶ月は小学校からの持ち上りのものを使ってもらって、でき上がった時点で入れ替えていくっていう方法もできなくはないですよ。

事務局：新1年生はないですね。

委員：だからそれは小学校のものをそのまま使ってもらえばいいので。

事務局：新1年生は前の小学校のがないので。

委員：確かにそうか。

委員：300枚や500枚すぐに作れるんだったら、1年生分だけ作ってもらってというのは。

委員：ちっちゃいのを優先に作ってもらってことですか。実際だからそのメーカーさんがその9月まで待って。どこまでできるのかっていう。

事務局：小学校1年生と中学校1年生はないですよ。

委員：中学校1年生は仮に小学校のそのままちょっと使う。確かに小学校1年生に関してはちょっと手持ちでなんとかしてもらおう。だからその辺ですよ。それが本当に7月、8月とかなっちゃうのであれば、ちょっとそれは、考えなきゃいけないんですけど1ヶ月とかぐらいのずれであればそういう対応もできる。

委員：運動会が4月、5月にある。

事務局：学園名はちょっと何とも言えないんですが、学校名は9月ですね。何とも、今までの学園名決まったのは3月ぐらいです。研究学園も正式決定してないです。仮称です。

委員長：すぐには決められないってことですよ。学園名だからない状態のものを作っていただいて、ということになりますよね。もう当然ね、それしかないんですよ。その最初のロットの背中か胸になるかわかんないけど、それに後からこうつけていただくようなことができ、それがいくらになるのかっていう。後から背中につけることはできるんですか。

ママダ：ちょっと現実的には難しいです。はい。

委員長：そういうことになっちゃう。

ママダ：そうですね。預かって入れる期間っていうのもございますし。

委員長：わかりました。だから一発目のロットは無理なんだよ。

委員：野球とかだとその場で背番号をユニフォームにペタッて張りつけてくれるんですけど。そういうのだと10分くらいで終わると思うんですけど。

ママダ：貼り付けじゃないものでなるべくやりたいです。劣化がないように。

委員長：よろしいでしょうか。今は考えられないですね。はい。ありがとうございました。では事務局に返します。次回は7月13日ですか。

事務局：はい。次回は7月13日になります。議事としては制服のアンケート結果公表及び決定と、あと体操服のアンケート詳細の決定になります。これにて第11回（仮称）みどりの南小学校みどりの南中学校開校準備委員会を終了したいと思います。皆さん遅くまでありがとうございました。

4 閉会